

[illegible]

Facebookも
チェック



浪江の花作りと農業の最新情報をお届け！



緑あふれる なみえの春より

例年に比べ、雪の多かった福島県浜通り地方。寒かった冬を越え、浪江町では緑あふれる季節がやってきました。

厳しい寒さに耐えた花木栽培では、より深く美しく育った花木たちが、圃場全体を鮮やかに彩っています。また、浪江町では平成28年度からお米の作付けを再開しており、水稻は今年約250haの作付けが行われ、水田に緑が蘇りました。

さらに畑では、エゴマをはじめ、タマネギ、長ネギ、アスパラなど様々な農産品も定植されています。もちろん、花農家さんでもトルコギキョウを中心に収穫がはじまり、首都圏をはじめとする花卉市場に出荷され、今年も高い評価を得ています。

「なみえ花通信」では、花のニュースはもちろん、浪江町の新しい農業における明るいニュースもお届けしていきます。



厳しい冬を越え、一気に緑が鮮やかに色づいてきた花木畑



順調に作付け面積も増えている浪江町の水田の田植え風景



出品するトルコギキョウを選定する清水代表。100点満点と自信をのぞかせていました



八重咲きの大輪のトルコギキョウは、蕾とともに出品されました

Flower
News
June, 2022

10年に一度の花のオリンピック 浪江のトルコギキョウの結果は？

前号(2022.冬号)でお伝えした、浪江町花農家“Jinふるゐる”さんのトルコギキョウが6月7日、無事にオランダ・アルメーレ国際園芸博覧会2022 コンテストへ向け出国しました。出品されたトルコギキョウは「セレブピンク」と「ジュリアスピンク」。八重咲の大きな花が特徴で、蕾とともに世界へ向けて浪江町からのメッセージも添えられています。「平和だからこそ、花が作れる。トルコギキョウの花言葉は希望、そして蕾は次世代・未来へ繋ぐ… 福島県浪江町より」。

残念ながら、日本で集約され送られた様々な産地の花材の一部がオランダの検疫でストップするというトラブルに見舞われ、トルコギキョウのコンテスト自体が中止となってしまいました。5年前から今回のコンテストへ向け準備をしてきた Jinふるゐる 清水代表は「今回は残念でしたが「横浜国際園芸博覧会2027」もコンテストがあるので気持ちを切り替えて金賞目指して頑張ります」と語ってくれました。

夢は花で人々を笑顔に！ 編集者から花農家へ転身

浪江町では新規で花農家を目指す人々へ向け、研修制度・補助制度など様々な施策が行われています。その研修制度を使い現在、Jinふる～るさんでトルコギキョウ作りを学んでいるのが関口卓磨さん(30歳)。関口さんは福島市出身。出版社で編集者として働いていましたが、自然と暮らす農業に興味を持ち、思い切って転職活動をスタートさせました。様々な就農フェアを訪問したり自治体の新規就農者の情報を調べる中で、浪江町の花作りに出会います。「当初は花作りを全く知らなかったのですが、就農フェアでは、浪江町役場の担当者がとても熱心丁寧に説明してくれ、浪江町フラワープロジェクトWEBサイトで研修・補助制度の充実を知りました。何よりもゼロから花作りをはじめて高い評価を得るまでになった浪江町の花農家さんに可能性を感じましたね」と語る関口さん。1年の研修を経て独立の予定。夢は「花で人々を笑顔にすること」。注目の若手新規就農者 関口さん。今後も本誌で取り上げていきます！



「困り事は何でも町役場担当に相談できるので安心です」と語る関口さん



オフィスワークからの転職で身体がキツかったという農作業。今はすっかり慣れました



苧宿地区のは場では苧宿ふれあいファームの指導のもと、手植えやトラクター操作などを体験



「初めての田植えは真っ直ぐに植えるのが難しかった」と語る大学生たち



東京農業大学の 大学生による田植え体験

5月15日、浪江町の南棚塩地区・苧宿地区で東京農業大学の学生による田植えが行われました。東京農業大学と浪江町は、農業に関する包括連携協定を結んでおり、農業インターンや農業視察、6次化企画など様々な協業体制を築いています。

田植え体験が行われたのは、「苧宿ふれあいファーム」の方々が管理する苧宿地区のは場と、「福島舞台ファーム株式会社」が管理する棚塩地区のは場。棚塩地区のは場では、生活用品大手の「アイリスオーヤマ」(本社・仙台市)の社員約60人とともに、手植えやトラクター操作などの体験をしました。参加した大学生は「田植えは難しかったですが、来年もぜひやってみたい」「田んぼはバランスを取るのが難しかったですが、転んでも土の香が素敵でした」と農業の楽しさを語っていました。秋に収穫されるお米は「浪江復興米」として、道の駅なみえなどで販売の予定です。ぜひ浪江町にお越しの際には浪江産のお米をご賞味ください。

What's new? 浪江の旬な情報をお届け!

What's
new

01 浪江町全体が学びの場に!



浪江町では様々な視察の受け入れを行っています。5月には東京農業大学の学生による町内拠点・農家視察が行われました。浪江町の農業ははじめ様々な現状を知り学ぶ事によって、新たな発見や提案を期待しています。

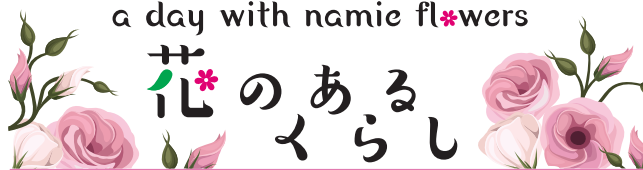
What's
new

02 独立就農で定植開始!



2021.秋号で紹介した渡瀬さんご夫妻。新しいハウスを立ち上げ、5月に花農家として独立。いよいよトルコギキョウの定植を開始しました。研修先であったJin ふるゑる 清水代表は「とても丁寧な作業で苗の生育状況を見るだけで太鼓判が押せる!」と早くも渡瀬さんご夫婦に期待をかけています。初出荷は順調に行けば7月予定。渡瀬さんご夫婦のチャレンジいよいよスタートです!

a day with namie flowers



今年度のなみえ花通信では、季節に合わせて“浪江町の花”を使ったフラワーアレンジメントをご紹介します。
春夏秋冬さまざまな楽しみを!ご自宅でもトライしてみてください!



テーマ“志は天までとどく”

今回は特別編、アルメーレ国際園芸博覧会2022に出品された、Jinふるゑるさんのトルコギキョウを使って簡単に、しかもオシャレな花束を作ってみました。ボリューム満点な大輪のトルコギキョウに春の花材スモークツリーを合わせるだけ。春らしく軽やかなアレンジの完成です。
花材:トルコギキョウ(セレブピンク)、スモークツリー



スモークツリーの雲の中から、トルコギキョウが生えるイメージを



Point! バランスが大事

メインとなるトルコギキョウはスモークツリーに合わせ、全体的に短くカット。スモークツリーの雲の中からトルコギキョウが生えているイメージで整えてください。
コンパクトなので花束にもピッタリです♪

講師: フラワーコーディネーター 近美豪人

北京花博2019 福島県ブースプロデューサー。
有限会社 花のチカミ代表。日花協全国大会優勝、JFTD Japan cup準優勝、World cup日本代表選考会出場など、数々の大会で入賞を果たす。

